

第 7 号
 発行 窓 会
 鈞 路 湖 陵 同 窓 会
 日 行 行
 昭 和 58 年 3 月 10 日
 題 字
 組 村 真 平 同 窓 会 会 長
 印 刷 所
 藤 田 印 刷 KK

くまざさ

星霜七十年

湖陵をまほろばの丘に

式典の準備着々と

湖陵は、大正二年四月一日開校。本年度で満七十年の歴史を刻んでいます。今年予定の記念行事について、組村同窓会長と中村校長にその取り組みについてお聞きしたものをメモしてみましよう。

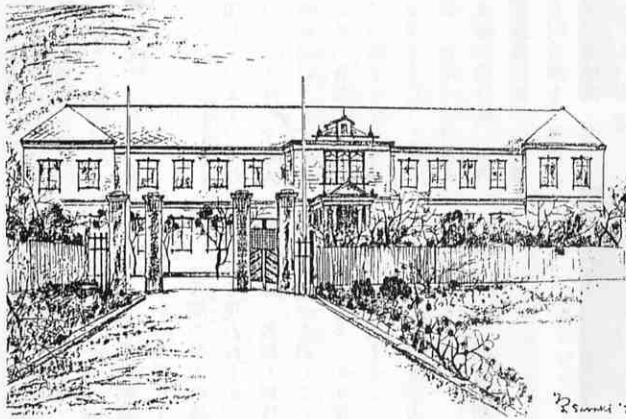


組 村 会 長

母校創立七十年記念のこの年に、なんとしても同窓会記念館―同窓会館―建設のメドをつけ、学校側に建設目録を贈呈したい。昭和五十五年七月に、同窓会館建設小委員会を組織し、委員長に久本甫氏（湖陵七期）を選び、現在までに数回委員会を開いて会館建設の準備をすすめてきている。これまでの会報でおわかりのとおり、会館の外形、中味などについて多く議論を重ね、できるだけ有効な利用ができるよう実際に在校生が集会やクラブ活動などに使えるよう、設計上の問題などを検討しながら、その準備を着実にやってきた。昨年八月の同窓会総会で、建設実行委員会の設置の承認を受け

いきたいと思います。

実行委員長に同窓会第三代会長であった丹葉節郎氏を決定した。なんとか三月中にはメドを立て、七十年記念式典には具体的な同窓会館の設計図をつくって、学校側に寄贈するようにしたい。例年八月に実施している同窓会総会は、学校側と打合せで、九月十七日とし、盛大な祝賀会になるようにしたい。また、会報も、七十周年にふさわしい特集を組んで



旧庁立鈞路中学校（昭和4年頃の写真による）

銅中十二会の50年記念級会に当って、昭和4年卒業当時の母校を畏友佐々木栄松さんに再現させていただきました。懐旧の情切なるものを感じます。（53.6.15.米）



中 村 校 長

七十周年に関連した事業として今年九月十七日に記念式典と祝賀会を開催することになっている。そ

れまでに「記念誌」を編み、それを当日生徒及び同窓生の方々に配布する予定である。すでに学校では記念誌編さん委員会を組織し、八月末完成を目標に取り組んでいる。また、旧校舎の模型（百分の二たみ一量ほどの精巧なものを作成中とのことである。七十周年記念事業の推進は、一昨年十二月にPTA、後援会、同窓会、学校の四者懇談会で話し合いが行なわれ、七十周年記念協賛会を組織して取り組まれているが、学校内でも記念行事推進委員会をつくって、具体的に仕事を進めている。

七十周年関連事業として考えられているのが「校舎改築促進」である。昨年七月に「校舎改築促進期成会」を結成後ただちに道へ陳情に出かけ、その後、中村道教育長も校舎視察に来校するなど、積極的な動きがみられる。母校の建物については、構造上問題があることについて、すでに指摘を受けているところであり、七十周年を契機にできるだけ早い時期に改築が実現することを望む。以前、学校長から、現在の敷地の中に、どのように新校舎を建設するか、設計図やその模型を見せていただいているが、伝統のある母校の歴史にこの大きな事業が現実のものとして結果するよう期待したい。

ことしの活動をふりかえる



昭和56年度・全国高校ハンドボール選抜大会

・剣道(連続二八回、男子)・硬、軟庭球・羽根球、国体、選抜大会には排球・ハンドボール、硬、軟庭球・体操・柔道・羽根球・剣道と延べ一九部を数えました。

このうち、大会を勝ち抜いて、八月酷暑の鹿児島での全国高校総体に陸上(四百米、野口3、畑毛3、四百米H、畑毛3)・ハンドボール(男子)・羽根球(森3)が、一月盛岡大会にアイスホッケー、松江市での国体には柔道(中村2)が道代表として出場、さらにハンドボールは選抜大会にも全道二連続制覇して、昨年と同じ名古屋(三月)での全国大会出場権を獲得しています。

同窓生のみなさま、いかがお過ごしですか。

この一年を振り返って、在校生諸君の多面にわたる活躍ぶりの一端をご紹介します。

まず運動各部の活動については、第六号で八月段階の状況をお伝えしましたので、その後の分も加えてまとめてみます。

全道大会出場は、高体連各大会に陸上・体操・籠球・ハンドボール・アイスホッケー・柔道・弓道

代表として参加しています。また合唱はNHKコンクールで全道大会に、さらに放送局はラジオ番組制作、アナウンスの各部門で東京大会(八月)に出場するなど地味ながらも着実に成果をあげています。

その他、器楽・合唱の校外演奏会の定期化、美術の校外展、市内各高校の部員が協力して一つの舞台を創る演劇合同公演を十年以上も継続するなど、地域文化の発展のために息の長い活動を続けていることも見逃せません。

各部の活動が一段落し来年に向けてエネルギーを充填している今は、受験シーズンもたけなわ、合格発表が新聞紙上を賑わす時期でもあります。

進路部のまとめによると今年の受験状況は次の通りです。卒業予定者四二五名中、進学希望者三五八六名(就職希望者三五名他四名)、国立(一九一)、公立(二四)、私立(四二

一)、国私短大(二〇五)、準大、各種、専門(六四)延べ七九五校、一人平均二・一校を受験することになります。受験戦線がいよ／＼厳しく、かつ多様化する状況の中で、三年間の努力の成果がどのような形で現われるか、受験生は勿論、父母、教師も期待と不安の錯綜する日々を過しています。

一人でも多くの生徒が自ら選んだ難関を突破することと、同窓生の方々のご健勝を祈りつつ母校からの報告とします。

湖陵四期・和田信幸

入選、前号でお知らせした中岡(2)は宇都の全国大会に道

入選、書道は高文連全道展に九点

入選、前号でお知らせした中岡(2)は宇都の全国大会に道



(美術)全国学生展・奨励賞受賞

スナック
パール

有山慶子(湖陵4期)

釧路市北大通り4丁目(足立ビル3F)

久本 齒科

久本 甫(湖陵7期)

歴代幹事長

おゝいに語る

出席者

名倉 澧氏(釧28期)
八町良三氏(釧32期)
遠藤隆吉氏(湖4期)

司会・記録 編集担当委員
徳田 広・豊島弘道

司会 今夕、多忙のところ有難うございます。本同窓会の中心的な実務上の推進役を果されて来た皆さんに同窓会のアレコレを存分に語っていただきたいと思ひます。ところで幹事長がはつきり位置づけられたのは何時頃ですか？

名倉 何か始めの頃は世話役的な常任幹事さんが数名おられたよう初代会長(丹葉氏)のころは今のような幹事長はなかったよう私の記憶では昭和42年、同窓会名簿づくりをした時の故岡野政広氏(26期)が実質上の初代幹事長だと思ふ。

八町 私は岡野さんから引継いで昭和44、49年頃まで幹事長をやった。五代会長米沢氏と六代会会長坂下氏のととき。

名倉 私は七代会長中村氏のとときで、昭和49、52年まで。

遠藤 私は現在の八代会長組村氏になってからで昭和53年から。



土台つくった
岡野幹事長

名倉 功績のあった岡野さんが亡くなられ久しいが……。

名倉 本当によくやった人だ。同窓会の規約づくり、総会対策運営

商店街をひとり廻って多額の寄附金を集めたり、世話ずきな人。健在だったら70周年記念で表彰されるべき第一候補者だ。

八町 引継ぐころ私は商工会議所において個人的にもよく存じあげていたが、体の大きな人で、ある時横綱栃の海と同席し写真を撮ったことがあったが、岡野さんと北大通のふとん屋さんのK氏。横綱の後に立つと横綱より一まわり身体がはみだしていたね。

同窓会で運動会をやった

名倉 釧中時代はバスケットでならした人でしたから先輩、後輩のつながりもよく、加えてザックパランな人柄で同窓会を盛り立ててくれた。同窓会の事務局的なものを湖陵高校におくように作ったのも氏の力による。

八町 私たちの卒業期は新制高校への切りかえの時でもあり、やがて釧中→湖陵の時代になり、先輩、後輩のつながりも変化するからあのこと考えるとバトンタッチした方が同窓会のためになると



名倉氏

い。で私が引継ぐことになった。同窓会は若い人で……と考えると。お聞きすると本当に同窓会の土台づくりをした大先輩だったんですね。今夜の会合に岡野さんがいたら……他界され残念だ。

司会 ところで同窓会としてどんな活動をして来たのか。

名倉 何年頃だったか同窓会主催の運動会をやった記憶がある。母校のグラウンドで数年続いた。バンカラ姿で大勢集って、岡野さんが集めた立派な景品を目あてに終日楽しんだものだ。

八町 やはり昭和42年の名簿作りが今の活動に役立っているようだ。丁度母校の五十周年記念のときだった。名前だけのっている名簿だったがこれを足がかりに昭和52年の名簿充実につながって行く。

名倉 この時も名簿の原稿が集まらなくて、当時北陽高校長の浪岡先生を中心にやったが、俺の名がない、期が違う。なんて大変だった。

司会 その時、今のように総会の当番幹事がローテーションを組んでやるようになっていたと思うが、これが役立っていたのでは。

司会 ローテーションをくむようになったのは丁度今から十年前、それまでは岡野さんの負担が大きくて、それではということが出来たのがこのローテーション方式。

株式会社 蝦名塗装店

常務取締役 滝沢泰雄(湖4期)

釧路市南大通4-1 TEL (0154) 41-6485

成田餅菓子店

成田竹治(釧中30期)

釧路市南大通3-1-9 TEL (0154) 41-2874

歴代幹事長

おゝいに語る

出席者

名倉 澧氏(釧28期)
八町良三氏(釧32期)
遠藤隆吉氏(湖4期)

司会・記録 編集担当委員
徳田 広・豊島弘道

名倉 功績のあった岡野さんが亡くなられ久しいが……。
名倉 本当によくやった人だ。同窓会の規約づくり、総会対策運営



土台つくった
岡野幹事長

名倉 私は七代会長中村氏のとさで、昭49～52年まで。
遠藤 私は現在の八代会長組村氏になってからで昭53年から。

八町 私は岡野さんから引継いで昭44～49年頃まで幹事長をやった。五代会長米沢氏と六代会長坂下氏のとさ。

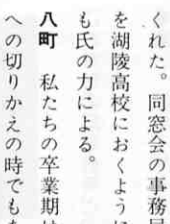
私 の記憶では昭和42年、同窓会名簿づくりをした時の故岡野政広氏(26期)が実質上の初代幹事長だと思ふ。

名倉 何か始めの頃は世話役的な常任幹事さんが数名おられたよう
で初代会長(丹葉氏)のころは今
のような幹事長はなかったようだ

八町 引継ぐころ私は商工会議所
にいて個人的にもよく存じあげて
いたが、体の大きな人で、ある時
横綱栃の海と同席し写真を撮った
ことがあったが、岡野さんと北大
通のふとん屋さんのK氏。横綱の
後に立つと横綱より一まわり身体
がはみだしていたね。

司会 今夕、多忙のところ有難うございます。本同窓会の中心的な実務上の推進役を果されて来た皆さんに同窓会のアレコレを存分に語っていただきたいと思ひます
とさで幹事長がはつきり位置づけられたのは何時頃ですか？

名倉 功績のあった岡野さんが亡くなられ久しいが……。
名倉 本当によくやった人だ。同窓会の規約づくり、総会対策運営



土台つくった
岡野幹事長

名倉 私は七代会長中村氏のとさで、昭49～52年まで。
遠藤 私は現在の八代会長組村氏になってからで昭53年から。

八町 私は岡野さんから引継いで昭44～49年頃まで幹事長をやった。五代会長米沢氏と六代会長坂下氏のとさ。

私 の記憶では昭和42年、同窓会名簿づくりをした時の故岡野政広氏(26期)が実質上の初代幹事長だと思ふ。

名倉 何か始めの頃は世話役的な常任幹事さんが数名おられたよう
で初代会長(丹葉氏)のころは今
のような幹事長はなかったようだ

八町 引継ぐころ私は商工会議所
にいて個人的にもよく存じあげて
いたが、体の大きな人で、ある時
横綱栃の海と同席し写真を撮った
ことがあったが、岡野さんと北大
通のふとん屋さんのK氏。横綱の
後に立つと横綱より一まわり身体
がはみだしていたね。

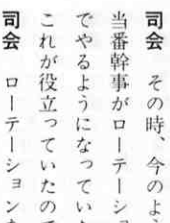
司会 今夕、多忙のところ有難うございます。本同窓会の中心的な実務上の推進役を果されて来た皆さんに同窓会のアレコレを存分に語っていただきたいと思ひます
とさで幹事長がはつきり位置づけられたのは何時頃ですか？



名倉氏

同窓会で運動会をやった

名倉 功績のあった岡野さんが亡くなられ久しいが……。
名倉 本当によくやった人だ。同窓会の規約づくり、総会対策運営



土台つくった
岡野幹事長

名倉 私は七代会長中村氏のとさで、昭49～52年まで。
遠藤 私は現在の八代会長組村氏になってからで昭53年から。

八町 私は岡野さんから引継いで昭44～49年頃まで幹事長をやった。五代会長米沢氏と六代会長坂下氏のとさ。

私 の記憶では昭和42年、同窓会名簿づくりをした時の故岡野政広氏(26期)が実質上の初代幹事長だと思ふ。

名倉 何か始めの頃は世話役的な常任幹事さんが数名おられたよう
で初代会長(丹葉氏)のころは今
のような幹事長はなかったようだ

八町 引継ぐころ私は商工会議所
にいて個人的にもよく存じあげて
いたが、体の大きな人で、ある時
横綱栃の海と同席し写真を撮った
ことがあったが、岡野さんと北大
通のふとん屋さんのK氏。横綱の
後に立つと横綱より一まわり身体
がはみだしていたね。

司会 今夕、多忙のところ有難うございます。本同窓会の中心的な実務上の推進役を果されて来た皆さんに同窓会のアレコレを存分に語っていただきたいと思ひます
とさで幹事長がはつきり位置づけられたのは何時頃ですか？

株式会社 蝦名塗装店

常務取締役 滝沢泰雄(湖4期)

釧路市南大通4-1 TEL (0154) 41-6485

成田餅菓子店

成田竹治(釧中30期)

釧路市南大通3-1-9 TEL (0154) 41-2874

各当番期が責任をもつことによつて同期がかたまり始めたのは事実

遠藤 だから今迄同期の会合すらなかった期も、總會準備のために集まり、同期生の所在や確認がはじまり名簿が整備されはじめた。

昭52年の名簿にはその様子が伺える。私達の期には女性も入つて来ますから總會のときの女性の活躍は非常に貴重で、これからの同窓会の在り方としてもこゝんところを忘れてはだめでしょう。



八 町 氏

いよいよ同窓会館設立へ

司会 巷には同窓会館はどうなつたという声が出ているが、どんな構想で動いているのか。

八町 坂下会長ときは坂下さんの事務所で、中村会長ときは八宝園で役員会といった具合で、何とか会員の気軽に集まれる今で言えば町内会館か地区会館のようなものがほしい。そのうち地方から出てくる同窓生が泊れるようなものという程度の構想だった。

名倉 そのための場所をどこに選

んでどう取得するかが問題になって来た。

八町 そのうち突然といつていいくらい思いがけなく道新が湖陵のすぐそばにある土地を寄贈してくれるという話になった。

名倉 その土地は同窓会に寄贈されるのか、湖陵へ寄贈されるのか、その間いろいろあつて湖陵へ寄贈されることになった。そうなると初めの頃の同窓会館の構想のようなわけにはいかなかった。

遠藤 そんな時、組村現会長が就任し、私が幹事長になった。建設小委員会（久本委員長）が設置され、現在、後援会、同窓会、学校側と集つて具体化を急いでいるところで、基本的には学校側が使いよく、在校生のために教育活動がより充実推進されるような内容のものを構想し、建築専門家や道などの意向も十分配慮し近く青写真も出来、具体的な募金活動にも入る予定で、今年九月中旬の七〇周年記念式典にははつきりすると思ふ。

八町 同窓会もある程度自由に使えるように、という考えも根強いようだが、とにかく後に永く残るものだから内容的にも機能的にも外観的にもいいものにしたいな。



遠 藤 氏

これからの同窓会をどうするか

名倉 一期生が健在なうちに同窓会として生きた歴史（校史）の歩みをつくる必要はないか。

八町 インタビューし生の声をテープで残す年誌も一方法だし、七〇周年記念誌に同窓会の記録を適切に集録するのも一方法。

司会 同窓会は若い世代のものという考えに立てば、これからは、**遠藤** 女性の存在と活動への参加を考へること。

名倉 最近では同窓、同期よりは同級の考えが強く、中には同級の中のグループという小集団化の傾向があるので、若い人達との交流が必要だ。

遠藤 私なんかこの中で最年少だが、誰でもそうだが、先輩にはよくブンをぐられたもんです。その時は憎いと思つたが、今ではなにかなつかしく親しみたいものを感じる時がある。

八町 私らの時は五年制だから前後一〇年の知りあいとなるが、今は違う。三年制でしかも部の活動

参加者も少なく同級生のみとなると、その辺が同窓会への考え方が変わるところか。

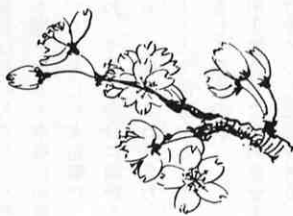
司会 そんな中で遠藤さん、幹事長としてのこれからの役目も大変ですね。

遠藤 正直言つてそうだがなやんばかりいては事はす、みません。先輩や若い人達の考え方を出来るだけキャッチしてつないで行くしかない。

名倉 札幌、函館、厚岸、白糠、十勝、奥根室など、遠くは東京方面などの同窓会の支部的な組織を保つて行くこともあるし……。

遠藤 組村現会長発想の会報発行はその点十分意義ある役目を果たしている。

司会 広報担当者の責任も重いというところですか。ではこの辺で



道 東 の 印 刷 セ ン タ ー



藤田印刷株式会社

〒085 釧路市若草町3番地1 ☎22-4165・23-7411

青春譜・湖陵ケ丘 (7)

釧中32期 奥田達也

「卒業答辞」

大正八年の三回生伊藤郷一らがやった「校風刷新事件」の数年後不発には終ったが同情ストを八回生丹葉節郎らはやっている。カンニングした友をかばっての単純な動機だったが、スト計画や実行に身ぶるいするような厳しい時代の友情であった。

浦見四丁目の下宿屋の一室に大勢が集まり討議する。別の場所へ移動しようにも狭いマチ中、噂になつては大変、と三々五々時間を置き別々のコースで知人岬の燈台うらの誰もいない高台へ集まつた。太平洋を見下しながら、ストの敢行をすべきかいなか激論をたたかさせたのであった。

第一次世界大戦が終り、平和な良き時代、市内の親元にいる生徒さえ下宿した。丹葉も親の監視を「勉強に専念したいので」と逃がれ中央館（釧中31期生野上正敏実家）に下宿した。室の先入者は小学高等科の最上級生。丹葉も釧

中の最上級生だから変な意地でこじれ合い、よそよそしい。友人の伊藤三幸（郷一の弟）が遊びにきても挨拶もソツケない。義侠心に厚い伊藤は夜遅くなくても帰らず止むなく丹葉は彼を泊めた。

「貴い揺籃よさらば」
ようらん
成績下位者が無原稿で

丹葉と先入者の上に、それをのせ、電燈を消して「地震だ！」と奇声を発したのであった。電灯がつけられ顔を見合わせる三人。お互いの顔に苦笑いが浮かぶ。よそよそしさはなくなり、和やかな気分が室に溢れた。そんな伊藤三幸を丹葉らは卒業式の答辞者として推選し、当局と交渉する。学業成績一位の者を学校当局が決める卒業代表の答辞を席順の最下位にも近い彼をである。菊地正人、武藤郁先生らも応援

し。しみと思いつめれば、湖陵の日は、私にとっては貴いなつかしの揺籃であった。私にしてもそれがいかに苦難の毒酒であつても、やっぱり懐かしい中学生生活であつた。わが半生の母であつた。私達にとつては今、この世で一番親しみ多い揺籃である。お前は、あらゆる過去の、冷たい人を愛する。暗い歴史に残るあの校舎にも。または悲しい血流るるあの丘の道にも。今は美しい微笑を送つてやろう。お、いとしき五ヶ年の生活よ。お、可憐な中学生の日よ。お、寂しき若き人生の苦闘の日よ。私は感謝する。お、揺籃の春採の湖陵よ。丘の日の生活よ。あの黒い海と灰色の空、悲痛な寒風に晒される美しい釧路の街。河口に沈む下町の晩冬の夕焼。あの夕映え。お、さらば、お、川よ、牧場よ、宿舎よ、さらば。

真夜中、突如として大地震が起こつた。大正十三年。関東大震災の翌年である。ハッと起きあがろうとする丹葉。だが動けない。

「地震だ」の声がどこかで聞こえる。上に物がのしかかっている。「助けて、助けてくれ」と悲鳴をあげる。なかなか重く、手も足も動かない。

ようやく誰かが丹葉らを助けてくれた。あまりに簡単に早く助けられ、救われた。それも道理、伊藤が部屋の押入れの戸をはずし、

してくれて、当局は受け入れた。張り切つた文芸部長の伊藤は原稿なしに精魂こめて答辞を述べた。「到頭、揺籃（ようらん）の湖陵とおさらばの日がきた。とうとう五ヶ年間の丘の日の生活に、永久に別れゆかねばならぬ日がきてしまった。あらゆる湧き出づる哀愁と郷愁とを捨てて、懐かしの学窓とも永劫におさらばの日がきてしまった。夢ではない。幻ではない。見よ、襲ってくる時のロンドを。」

公園よ、校舎よ、道よ、友よ、寄宿舎よ、さらば。涙よ、夢よ、嘆きよ、歌よ、試練よ、反抗よ。お、さらば中学生活よ。半生の母よ。揺籃の湖陵よ。なつかしの高原の町よ、さらばさらば。さあ過去を温かく愛し、前途に向おう。またそれが、過去への礼である。詩人シレーお、風よ。「冬来たりなば春遠からじ」

常盤商事(株)札幌支店釧路営業所

所長 佐々木 久

営業所 釧路市北大通8の2
道銀ビル3F
電話 (代)24-5171番

第4回卒業

酒・食料品 ⊖ 柴田商店

柴田 富也

釧路市弥生1の3の10
電話 41-8960

第4回卒業



「向学の心、自治の魂」

血気盛んな釧中生

坂下 忠勝

昭和八年三月五日釧路中学校第十六期生として数々の思い出を残し学窓に社会にと散った数一二名。入学時の一五〇名は家族の転住に或いは四年時に於ける優秀組の進学にも、そして死亡に。

後年悔まれてならないのは当時の死亡の殆んどが肋膜炎であり戦後出廻ったベニシリンの様な新薬があったならと。

この期のエベントは何と云って開校以来始めてのストライキである。五年時の五月、当時の道庁佐上信一長官より釧中刷新の特使を受けて赴任した佐藤修一校長（海坊主）による血も涙もないと思われる四教師の首切りである。

在校生、同窓生としてはまさに『憤慨その極に達す』の心境なり。然し此の事も時が経つにつれ冷静に判断し得る年令となる頃には、罷免に至る経過を除けばこの処置もまた止むなしとも思われるのである。それはこの時期を境にして釧中の学力向上は目覚ましいものがあり屢々全道一と評されることがあったと聞かされていたからである。当時の自分は両親のもと一人っ子として過保護に育てられ小



あゝ懐しい!! あの日

湖陵三期 森保麗子

心者のサンブルの様な存在であり、この小心者としては殆んどの仲間が精力的にこのストライキに参加しているにもかかわらず、その様な積極性の持ち合わせもなく極めて消極的な姿勢であり「イエス」「ノー」の判断も出来ぬ当時の腑甲斐ない自分に後年大いに悔が残るのである。

このストライキにより五年時に計画されていた中学校最後の楽しみにしていた修学旅行が取り止めになったのは当然の事とはいえ、一部のガリ勉組を除いては一樣に大きなショックであったことは間違いない。社

会に出てから一時期を除いて戦後間もなく早々と同期会の世話役をかってたのも或いはこのプランクを埋め度いと思う潜在意識があったのかも知れない。昭和四十八年阿寒国立公園修学旅行。五十六年には鎌倉方面への修学旅行等となったのである。今年卒業満五十年。母校創立満七十年。実に意義深い年である。盛大に祝い度い。

わが青春

卒業してからもう三十二年だつて、うわあ! 信じられないなあ。男女共学第一日目の朝、あの日はいつもよりかなり早く目覚めて、ああいよ／＼今日からは私自身に大変化がおきて、いったいどうなるのかなあ、等々取り止めの

のなないことばかり考えながらの登校。家が浦見町なのでNHKの坂を下つての登校道が、今日からは右に折れる事になる。右に折れた途端に落着きが無くなり、と同時に男子の大部を見る(大げさな)いや本当に。だつてそれ迄男子との縁な

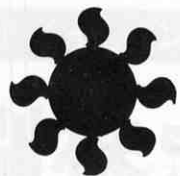
んでせん／＼なかつたんですもの。いよいよ湖陵の校門が近づく。あたかも鬼が島へ上陸するが如く肩に力を入れわが友にしっかりとままつての第一歩。まったく今おもえば縮らない事おびたしい。玄関の壁に張られた組分けの標示紙から我が名をさがしやつとの思

入り、男子は何如に? と見るとこれ又一団となりて窓側にずらり。こちら女子は廊下側に陣を取る。たしか真中の列は空いていたと記憶しているんだけど。双方大照れの集団見合というところだった。やがて先生の登場。先生も何やら落着かない様子で、女子の方など見すやたら同じ事ばかり言つてみたい。(先生、ごめんなさい)

さ、それから後のお掃除の大変だつた事。聞けば何と、マント、で叩いていただけだつたとか。さて登校一日目の不安等はどこへやら卒業近くの頃には借りられてきた様な子猫がすっかり居着いてしまふ少々さぼつてポートを漕ぐやら、又ちよ／＼びり胸の奥がキーンと痛かつた想い出などで一

バイ。素晴らしい先生方と沢山の友情に恵まれ本当に私にとつてはかけがえのない一年だつた。今だにちやん／＼呼ばれると、厚かましくも当然の如く、あの当時のつもりで返事をしてる進歩のなさで恥かしい。あれから三十二年もたつたとはわが青春に悔あり? いや、なし。

太陽のように明るく暖かい
真心で良い品をより安く
ご奉仕するセオチェーン



セオ

営業品目

●食料品 ●日用品 ●衣料品 ●軽食堂

- 妹尾商店 釧路市新橋大通1丁目 ☎25-5345
- 新富士ストア 釧路市新富士駅前 ☎51-3467
- 愛国ストア 釧路市愛国37番地 ☎36-4295
- 白樺ストア 釧路市白樺台1丁目 ☎91-5423
- 昭園ストア 釧路市昭和190番地 ☎51-8853

同期会だより

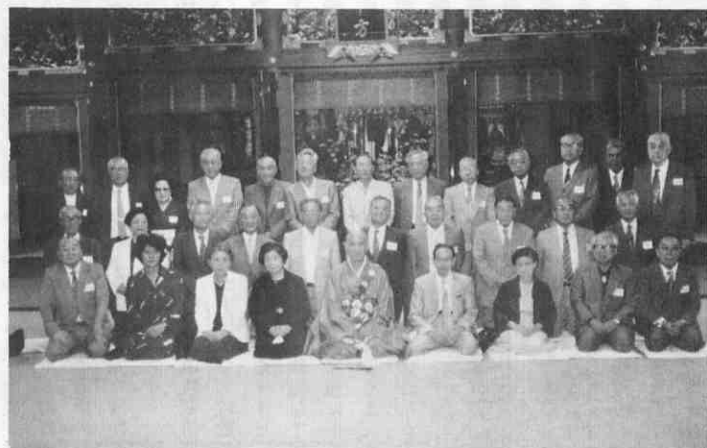
15 期会
中 同期会
卒業生

80歳の恩師も迎え

50年目の最後の総会

昨年、九月十一日(土)の創新に「本行寺で創中十五期会の逝去同期生の慰霊祭」のことが報道されていた。とここでそのときの写真を同期会代表の渡辺忠氏からお借りしたので、この会報にも載せさせていただきます。「五十年目、最後の総会」について「同期会だより」としてまとめてみることにした。創中第十五期生は、昭和七年二月一日現在の同期生名簿によれば、市内在住者二十六名はじめ各地区ごとにそれぞれ幹事を決めて、総勢七十名が連絡をとりあって、同期会を組織している。昭和五十年から「全国総会」を開いて昨年がちょうど、卒業して五十年ということで、記念の総会を九月九日と十日の両日、先ほど紹介した本行寺での慰霊祭に始まり、川湯温泉・白樺荘で総会と懇親会を開き、斜里・宇登呂・知床をまわって釧路解散という豪華なもの

であった。大変立派な「しおり」がつくられていて、その中に、卒業当時の母校を佐々木栄松氏が描いたのがコピーされており、大変すばらしい作品なので、会報の一ページにお断わりして載せさせていただきます。



本行寺で行われた逝去同期生の慰霊祭、遺族らも参列する

は、東京都内の八芳園というところに、四十名集まり、都内旅行をして、交流を深めている。とにかく、すばらしい取り組み方である。見出しの文字は、八月二十七日に道新がとり上げた記事の見出しをそのまま使わせてもらったが、それを見るに、同期会の結束力とその底に脈々と流れている創中魂を感じざるを得ないのである。埼玉県川口市から、恩師、佐藤慶二先生ご夫婦を招いて「最後の総会」を盛大に「しおり」に記されている多彩な催しになっている。「八十歳の恩師」は写真でうかがう限り、とてもそんな年齢にはみえないのだが、「しおり」に寄せられた「処世五十年」のことはを読ませていただいて、なるほどと納得した。正にそれは折目正しい古武士を感じさせる。切れ味のよい見事なものなのである。佐藤先生は、前半で卒業後の戦中戦後の嵐の生活について述べられたあと、それを超越して庁立釧路中学校の第十五回卒業の諸氏は、最高の発展と栄位を得たとし、「出監の誉」とほめられている。そして、終わりで、在校五ヶ年間で、耳にタコの出来る程諸氏に話した『読書と研究』と「ものを創る」大切さ……失敗したら……それを取り返す為に「その分だけ長生きして必ず取返すんだ」と……只今の私は三個の信条のための完敗の連続です。だからこのまま死ぬません。失敗の取り返しに一生懸命です。——だから、八十才にして益々意気盛んなのだと解せられた。創中第十五期生の先輩諸氏におかれては、この大恩師の教えに意気を感じられて、次の総会を是非とも企画されるよう望みます。

(豊)

坂上洋治事務所

所長 坂上洋治

釧路市材木町3番23号
電話 41-6079番

第3回卒業

株式会社 村上紙茶店

取締役 村上史郎

釧路市大町2丁目2番地
電話 41-5055番

第3回卒業

昭和五十七年度

湖陵同窓会総会

五〇〇余集う

昭和五十七年八月十五日(日)、湖陵同窓会総会並びに懇親会が釧路商工会館を会場に、五三〇名の会員が集い、盛大に催された。

総会は、組村会長、中村校長の挨拶と祝辞のあと議事に入つて、遠藤幹事長より事業報告、見田会計長より決算報告、山本会計監査より監査報告があつて、それぞれ承認された。つづいて、同窓会館建設小委員会の久本委員長から同窓会館建設についての委員会報告があり、建設実行委員会設置について承認を受け、実行委員長として、同窓会顧問(第三代会長)の丹葉節郎氏を総会決定した。

つづいて、永田淳一氏—湖陵十期—の軽妙な司会で懇親会に入った。名倉副会長の紹介で、今回の行事を企画遂行してくれた当番幹事(釧中三十・三十一期・湖陵十期・湖陵二十期)のメンバーが壇上にならび、参会の同窓生から暖かい拍



手を受けた。当番幹事代表として、釧中三十・三十一期の松島良治氏からユーモア溢れる挨拶があつて、宴がにぎやかに繰り広げられた。東京在京会の佐川幹事長、帯広支部の長谷川副会長らの招待者や横浜在住の安部正氏(湖陵二期)など、遠路この総会に出かけてこられたり、年々参会者の範囲が広がつてきている。アルコールが入るに従つて、会場のあちらこちらで、同期のサー

クルがつくられ、談笑が湧きおこり、同窓会ならではの雰囲気になつた。同窓のプロ歌手のシャンソン、市長の飛び入り歌曲の錦上花を添える場面もあり、一層楽しいものになつた。湖陵剣道部の生徒諸君らが手伝つて、校歌のレコード、校章の入ったタイピンをもつて席をまわつて販売している光景あり、また、事務局にある当日のスナップ写真によると、——美女ありて楽しきおのが心かな——

第二回同窓会主催記念講演

同窓会長 組村 真平

のように、結構、女性(湖陵の時代には当然だが)の参加者が増えてきている。恒例により、次期当番幹事の紹介を、神副会長が行い、それを受けて、次期幹事代表の多胡省三氏から力強い挨拶があつた。ちょうどこの日は終戦記念日、釧路にはめずらしい夏の陽差しで空襲時の好天続きのことが頭をよぎつた。無事終了。幹事の皆さんに多謝。

同窓会主催、在校生(一年生)対象の講演会が十月二十八日正午から湖陵記念館で行われた。今回は、梅山釧路市教育長、鰐淵釧路市長に続いて、第三回目。組村同窓会長が講師になり、四五〇名の生徒を前に約一時間熱弁をふるつた。

「諸君の青春を充実せしめよ」を演題として、一度しかない人生を悔いのないように生きなければならぬ。そのためには、各自が持っている素質に自信を持つことが大切であること。そして、その素質にみがきをかけなければならぬと力説された。また、ある期

*帯広支部総会開く

二月十一日、午後一時より帯広東急インを会場に、帯広支部総会が催された。河崎会長以下七十余名集まる。帯広では、湖陵・江南の同窓生が仲良く合同で会を開くというユニークな組織でうらやましい限り。

組村会長、久本副会長らが参加をして交流を深めた。

ビールの早飲み大会では、組村会長が日頃、きたえた腕? で見事一等になるといふ場面あり、またカラオケ大会では、久本副会長の美声(文字どおり)が聴かれるなど、大変盛会裡に終始した。

*あとがき

※暖冬異変とさわがれた今冬も、なかなか期待どおりには進まず、三月の声を聞いたというのに真冬日が続いて、しかも降雪も結構なもの、校舎改築、同窓会館はなんとか期待どおり事が進みますよう。※母校創立七十周年事業の中で、校舎の模型を制作中とのこと、なんと早く、それを同窓会館の資料室にかざりたいものである。建設小委員会が二月二十八日開かれ会館建設の取り組みも、いよいよ大づめを迎えた。

※三月十日、母校卒業式。四三〇名の湖陵三五期生よ、大きくはばたけ。本年度をもって同窓生数は一万六千七百九十一名となる。

(豊)